

【2】行動分析および【3】支援例

平成 年 月 日 () 年 組 番 氏名

⑤	計算が苦手な場合
行動分析	1 数の概念を理解していない
	2 言語理解力の不足、記憶力が弱い
	3 視覚認知(空間的な位置関係を把握すること)が弱い
	4 抽象的に考えることが難しい



支援例	ア 計算のどの段階でつまづいているか個別に確認する
	イ 繰り上がった数や繰り下がった数など、計算途中の数をメモする場所を決めておく
	ウ 計算方法をカードなどに作成し、マニュアル化する
	オ マス目や枠がある用紙を使用し、位取りをしやすくする
	エ 文章題では文章の意味が分からないのか、それに基づいた計算の仕方が分からないのか等、個別に確認する

⑥	推論することが苦手な場合
行動分析	1 記憶力が弱い
	2 抽象的に考えることが難しい
	3 論理的に考えることが苦手である
	4 イメージをして、推測することが苦手である
	5 順序立てて物事を考えるのが苦手である



支援例	ア どの段階でつまづいているか個別に確認する
	イ さまざまな例を示すことで、論理化や抽象化のパターンを示し、それを利用して考えるように教材を工夫する
	ウ 考えや取り組むことを書き出すことで視覚化させ、それをもとに優先順位や重要さの順に並べさせる
	エ 要点やポイントになる言葉に印を付ける
オ ポイントになることを絵や図に書いて、視覚的に示す	